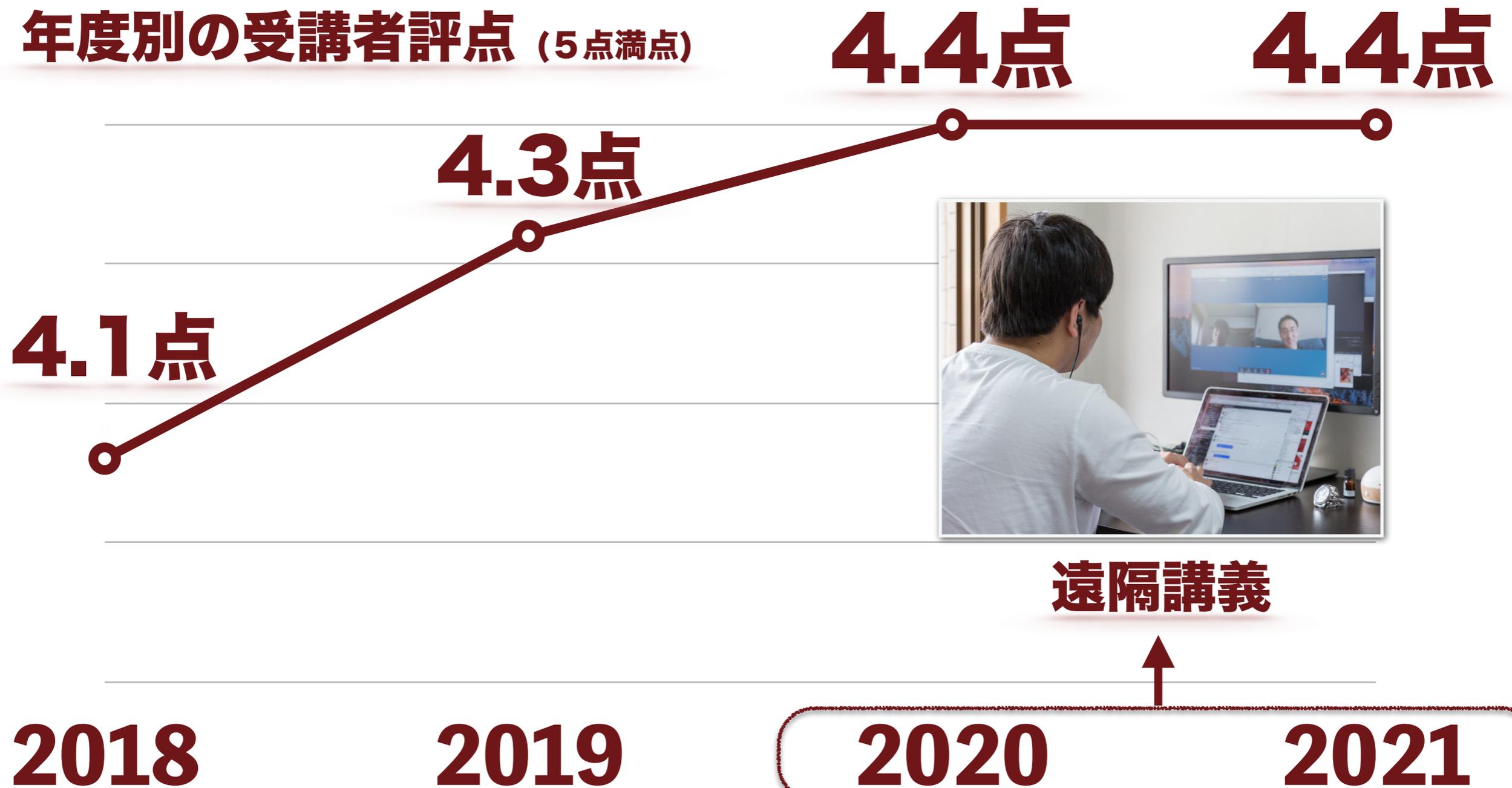


Railsチュートリアル × 遠隔学習

受講者評点がリモートでも伸びた理由

年度別の受講者評点 (5点満点)



- 1. 前提条件の確認**
- 2. 遠隔学習の評価**
- 3. 研修等への応用**

1. 前提条件の確認

2. 遠隔学習の評価

3. 研修等への応用



Ruby on Rails チュートリアル

プロダクト開発の0→1を学ぼう

Railsチュートリアルとは？



Webサービスを作りながら
学ぶ大型チュートリアル



ゼロからデプロイまで
プロダクト開発の流れを集約



テキストや解説動画など
様々な学び方をサポート



コンテンツを選択 ▾

初めての方へ

ゴシック体 OFF

動画で早く学ぶ

オフラインで学ぶ

困ったときのヒント

 みんなのつぶやき
#Railsチュートリアル

 就業相談 ^{PR}

 Railsガイド

プロダクト開発が学べる大型チュートリアル

Rails



すべて

画像

ニュース

ショッピング

動画

もっと見る

設定

ツール

約 216,000,000 件 (0.40 秒)

railsguides.jp > getting_started ▾

Rails をはじめよう - Railsガイド

このガイドでは、Ruby on **Rails** (以下 **Rails**) を初めて設定して実行するまでを解説します。このガイドの内容: **Rails**のインストール方法、新しい**Rails**アプリケーションの作成方法、アプリケーションからデータベースへの接続方法; **Rails** ...

google.co.jp で 'Rails' と検索すると1ページ目に表示

railstutorial.jp ▾

Ruby on Rails チュートリアル：プロダクト開発の0→1を学 ...

SNS 開発を題材にした大型チュートリアル。プロダクト開発の 0→1 を創りながら学びます。電子書籍や解説動画、質問対応、法人向けサービスも提供しています。

rubyonrails.org ▾ このページを訳す

Ruby on Rails | A web-application framework that includes ...

A web-application framework that includes everything needed to create database-backed web applications according to the Model-View-Controller (MVC) pattern.



演習科目で採用 (工学院大学・AIITなど)

<https://note.com/yasslab/n/na8c64dbde6ef>



“自分のペースで勉強でき、達成感があった”
“質問時間がたっぷりあり、詰まっても安心”

- **数十名の受講者**
- **遠隔講義の実施**
- **反転学習の導入**

一斉学習



講義中に
知識獲得



講義外で
課題実戦

反転学習



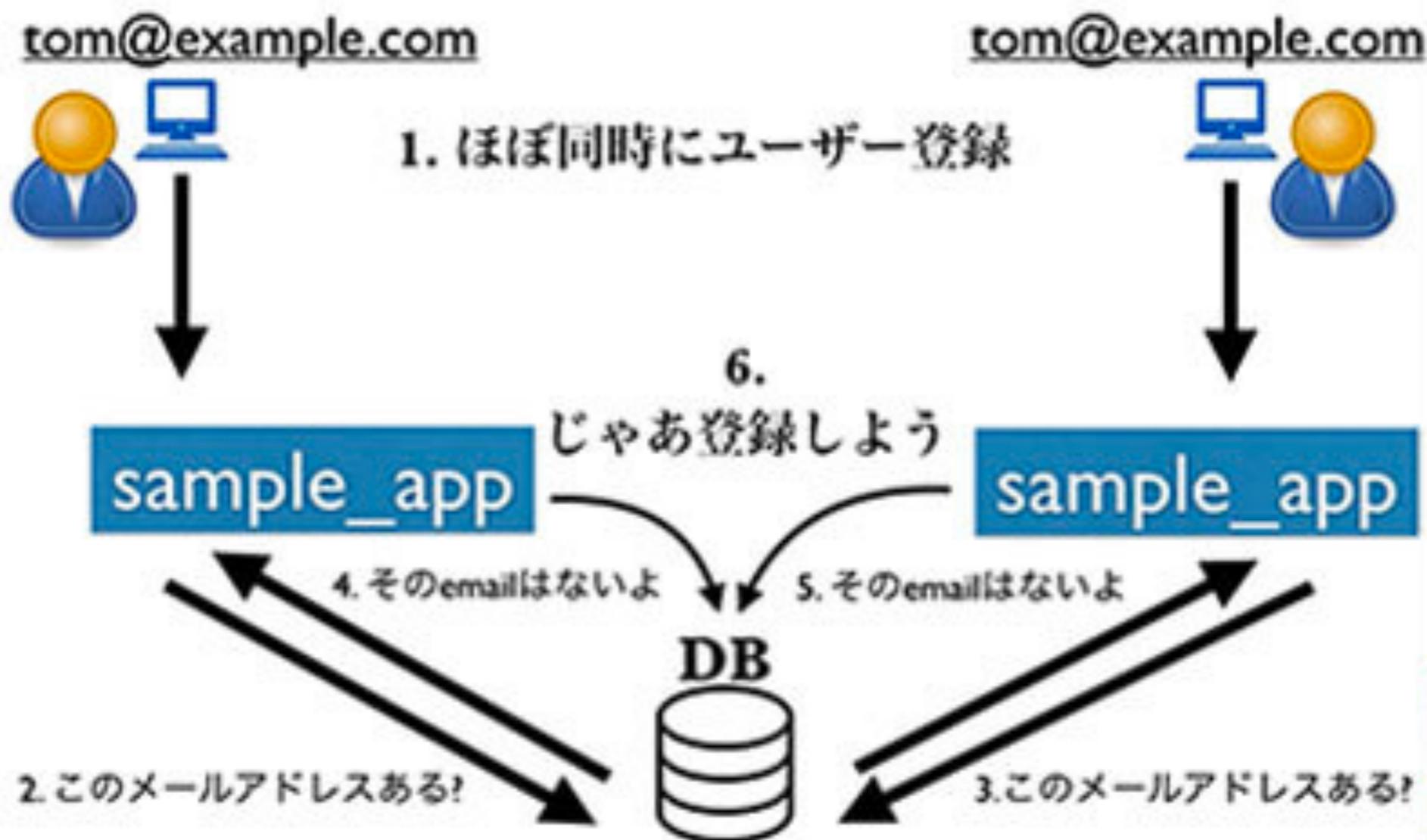
講義外で
知識獲得



講義中に
課題実戦

講義外は『動画と書籍』で知識獲得

一意性 (Unique) の問題



講義中は「対話とサポート」を重視



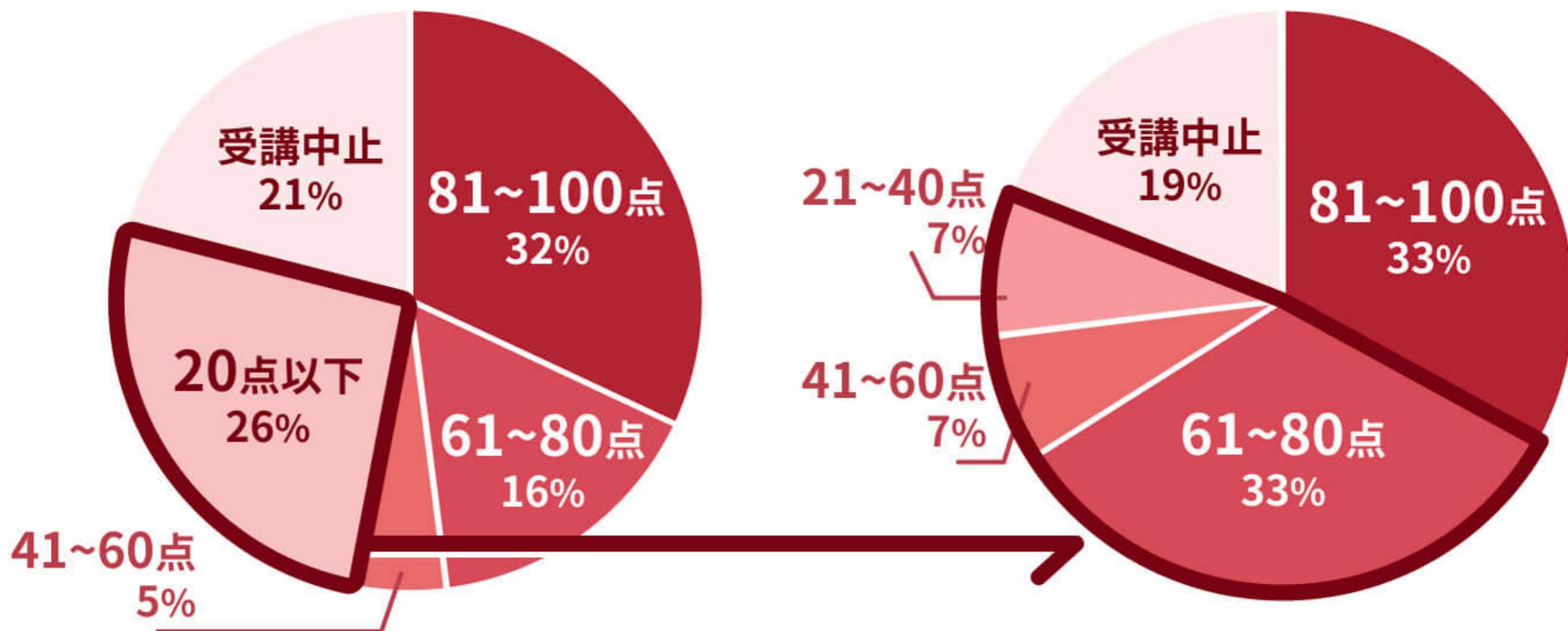
```
irb> [UserController, ApplicationController, #<Module:0x00000002ed1eb0>, #<Module:0x0000000332b010>, #<Module:0x0000000332b038>, ActionController::Base, Turbolinks::XHRHeaders, Turbolinks::Cookies, Turbolinks::XDomainBlocker, Turbolinks::Redirection, ActiveRecord::Railties::ControllerRuntime, ActionDispatch::Routing::RouteSet::MountedHelpers, ActionController::ParamsWrapper, ActionController::Instrumentation, ActionController::Rescue, ActionController::HttpAuthentication::Token::ControllerMethods, ActionController::HttpAuthentication::Digest::ControllerMethods, ActionController::HttpAuthentication::Basic::ControllerMethods, ActionController::DataStreaming, ActionController::Streaming, ActionController::ForceSSL, ActionController::RequestForgeryProtection, ActionController::Flash, ActionController::Cookies, ActionController::StrongParametersSupport::Rescuable, ActionController::ImplicitRender, ActionController::Responds, ActionController::Caching, ActionController::Caching::FragmentationController::Caching::ConfigMethods, ActionController::Callbacks, ActionController::Callbacks, ActionController::EtagWithTemplateDigest, ActionController::ConditionalGet, ActionController::Head, ActionController::Dancer::All
```

結果、挫折の数を小さくさせつつ、

Webテキスト



解説動画



難解なWeb技術を、挫折せず理解できる仕組み

学習者からも好評価 😊

**最後に、もし講義に改善案・要望・感想などありましたら
ご自由にお書きください！**

既存のビデオを活用した反転授業は、自分のペースで勉強できてとても良いです。質問時間をたっぷりとっていただいているので、エラーで行き詰まっても安心です。実際初心者にとって、Railsの本質とはあまり関係ない環境構築で困ったり、エラーメッセージの意味がわからなくて困ったりすることが多いので。

他の科目でも反転授業を積極的に採用してほしいと思います。

<https://bit.ly/aiit-railstutorial>



講義外で
知識獲得



講義中は
演習重視

(写真: RubyWorld Conference 2018 における反転学習の講演)

詳細は RWC 2018 の動画へ

2018年時点で反転学習は導入済み そこからさらに伸びたのはまた別の理由

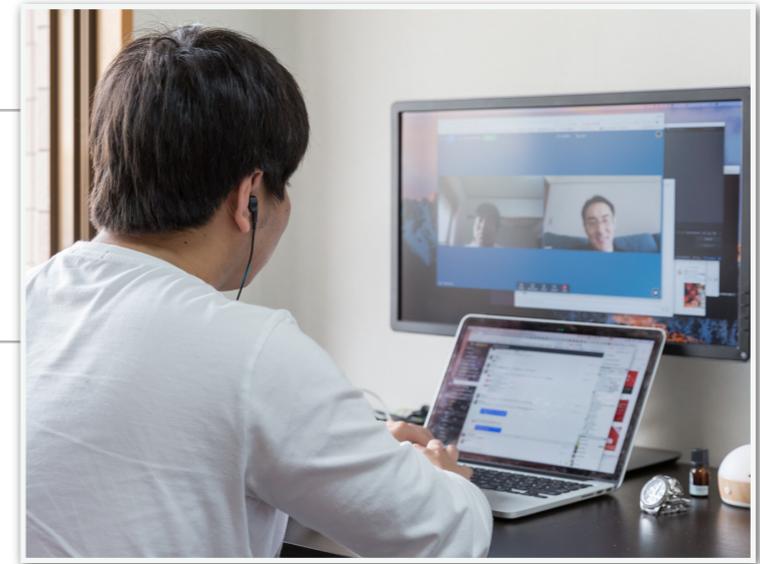
年度別の受講者評点 (5点満点)

4.4点

4.4点

4.3点

4.1点



反転学習は導入済み

遠隔講義

2018

2019

2020

2021

1. 前提条件の確認
2. 遠隔学習の評価
3. 研修等への応用

(基本は同じはず...!?)

受講者の声を聞き、 ふりかえり & 改善!

-  ふりかえり: 2021年度Railsチュートリアル×AIIT
-  ふりかえり: 2020年度Railsチュートリアル×AIIT
-  ふりかえり: 2019年度Railsチュートリアル×AIIT
-  AIIT タグ - Qiita:Team (参考: 毎年のふりかえり社内記事)

現地開催 (2018～) の受講者の声

- 講義に求めている 「前提条件」を補足する教材も欲しい
- わからないところを中心に対応するスタイルは良かった
- 動画・テキスト等の資料が多くあり安心して取り組めた
- 質問対応の様子も (学内限定の) 動画でふりかえりたい
- 他の実習系科目でも反転学習の仕組みを取り入れて欲しい
200%のサポート体制が整った講義で分かりやすい

現地開催 (2018～) を受けた改善



#Railsチュートリアル の新たなコンテンツ『CSS & Design 編』が全10章の完全版として公開 🎨 ✨

- ✓ GitHub Pages
- ✓ Jekyll
- ✓ Flexbox攻略

など、Web制作で役立つ様々な情報が詰まったチュートリアルとなっています 🍻



新コンテンツ「JavaScript編」のベータ版が公開されました 🎉

#Railsチュートリアル より公開予定の大型チュートリアル (全11章) から、3章まで無料で試し読みできます 📖 FREE ✨ (絶賛編集中のため随時更新しています)

詳しくはnote記事をチェックしていただくと嬉しいです 😊

note.com/yasslab/n/nad5...



遠隔講義 (2020～) の受講者の声

- 動画配信型のため社会人の私にとって負担が軽くなった
- 問題が非常に練られていて自分の頭で理解し、自分の言葉で回答しないといけない内容になっていた
- 課題提出後にすぐレビューされるのは大変ありがたかった
- 他の方の回答へのレビューも聞くことができるため、解答を示される以上にどう考えればいいのかを学べた
- とにかく講義資料の充実度がすごい

遠隔講義 (2020～) の受講者の声

- 動画配信型のため社会人の私にとって負担が軽くなった
- 問題が非常に練られていて自分の頭で理解し、自分の言葉で回答しないといけない内容になっていた
- 課題提出後にすぐレビューされるのは大変ありがたかった
- 他の方の回答へのレビューも聞くことができるため、解答を示される以上にどう考えればいいのかを学べた
- とにかく講義資料の充実度がすごい

お気づきですか？



遠隔講義 (2020～) の受講者の声

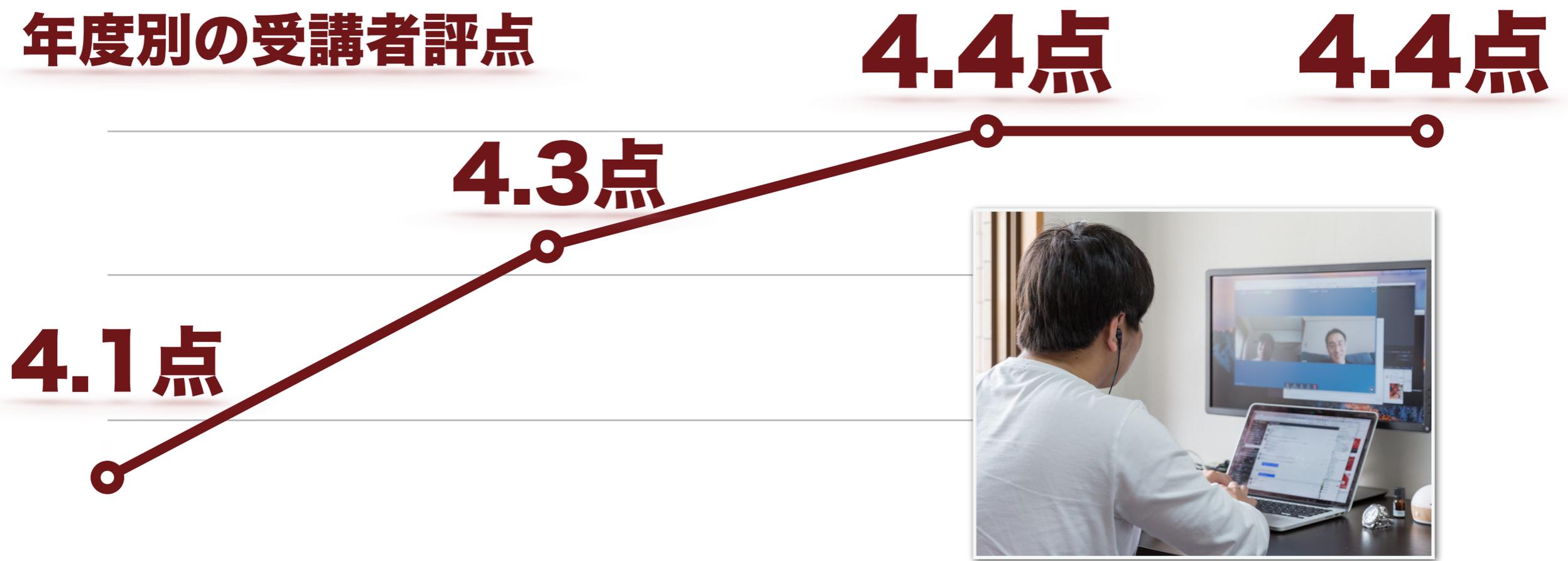
- 動画配信型のため社会人の私にとって負担が軽くなった
- 問題が非常に練られていて自分の頭で理解し、自分の言葉で回答しないといけない内容になっていた
- 課題提出後にすぐレビューされるのは大変ありがたかった
- 他の方の回答へのレビューも聞くことができるため、解答を示される以上にどう考えればいいのかを学べた
- とにかく講義資料の充実度がすごい

「遠隔だから〇〇」
といった声がほぼ無い

反転学習は遠隔講義の影響を受けにくい

→ ふりかえりと改善による地道な評価向上

年度別の受講者評点



反転学習を導入

遠隔講義

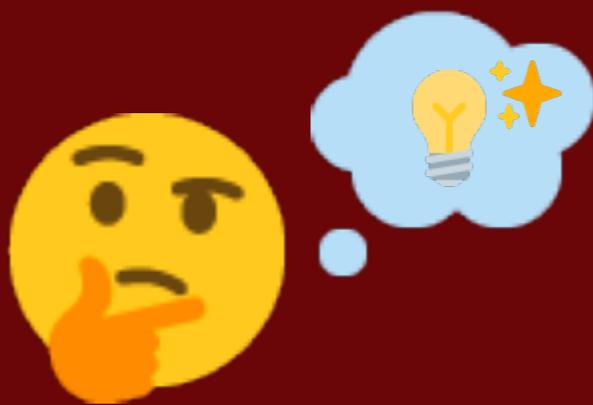
2018

2019

2020

2021

研修でも同じ効果が
得られるかも？

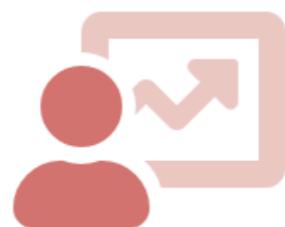


1. 前提条件の確認
2. 遠隔学習の評価
3. 研修等への応用

🎓 法人向けプランを大幅リニューアル

📋 状況に応じたプラン

研修プログラムの設計段階からサポートするプランと、既存の研修プログラムに組み込む2つのプランがあります



研修プラン

担当者の負担を減らし、受講者の満足度を上げる研修プログラムの設計からサポートします

内製化を支援



内製プラン

反転学習に対応した各コンテンツやRailsトレーニングを既存の研修プログラムに組み込みます

各プランの違い

	研修プラン	内製プラン
コンテンツ利用	○	○
トレーニング機能	○	○
研修設計のサポート	○	—
研修実施のサポート	○	—

遠隔講義 (2020~) の声も反映

Railsチュートリアル トレーニング

学んだ知識を、言葉で説明してみよう

トレーニングの流れ

Web技術や設計思想、テストやセキュリティなどに関する設問に挑戦しながら、理解できてない箇所を把握していきましょう。回答後に解説動画の説明シーンを参照できるので、やればやるほど理解度の向上に繋がります。



1. 反転学習で学ぶ



2. トレーニングに挑戦



3. 解説動画で理解度を確認

<https://railstutorial.jp/training>

遠隔講義 (2020～) の声も反映

Railsチュートリアル トレーニング

学んだ知識を、言葉で説明してみよう

第1章 『ゼロからデプロイまで』

Q1 一般的な開発では rbenv (Ruby) や pyenv (Python)、nodenv (Node.js) といったツールを使ってバージョン管理することが多いです。例えば rbenv のようなツールを使わない場合、具体的にどんな場面で困るでしょうか？ 思いつく場面を簡潔に説明してみましょう。

記述式テキスト (長文回答)

→ 手を動かして学んだことを言葉にする訓練

 簡単

 普通

 難しい

“「理論を学ぶ - 体系的に筋道を立てて学ぶ」というのはスゴく大事なんですけれども、一方で「手を動かす - 具体的にこうなる」というのも学ばないといけない。(中略)

両方やる - つまりそれらを「頭の中で結び付けをする」というのが大事だと思います。

(徳丸先生との特別対談より引用)

<https://note.com/yasslab/n/nd514c04e1849>

遠隔講義 (2020~) の声も反映

Railsチュートリアル トレーニング

学んだ知識を、言葉で説明してみよう

第1章 『ゼロからデプロイまで』

Q1 一般的な開発では rbenv (Ruby) や pyenv (Python)、nodenv (Node.js) といったツールを使ってバージョン管理することが多いです。例えば rbenv のようなツールを使わない場合、具体的にどんな場面で困るでしょうか？ 思いつく場面を簡潔に説明してみましょう。

記述式テキスト (長文回答)

→ Slack 等に通知して、円滑なチーム学習へ

 簡単  普通  難しい

 incoming-webhook APP 12:17 PM
[Railsチュートリアルトレーニング]
 railstutorial@example.com

第1章 『ゼロからデプロイまで』

Q1: 一般的な開発では rbenv (Ruby) や pyenv (Python)、nodenv (Node.js) といったツールを使ってバージョン管理することが多いです。例えば rbenv のようなツールを使わない場合、具体的にどんな場面で困るでしょうか？ 思いつく場面を簡潔に説明してみましょう。

回答: rbenv のようなバージョン管理ツールを使わない場合、例えば ...
自己評価: 簡単

2021年4月リリース!

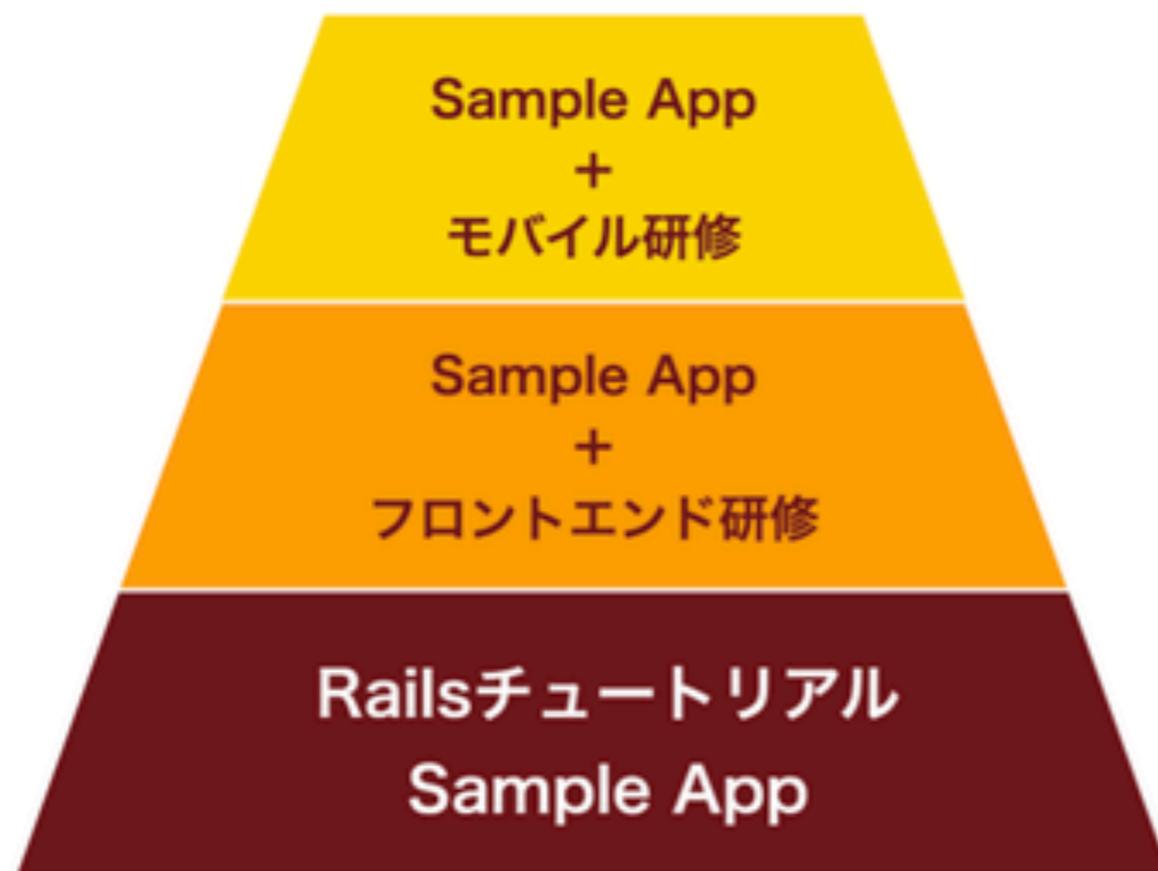
結果は.....?





事例: フロント/モバイル研修 (GMOペパボ)

<https://note.com/yasslab/n/n4fb0f88e6b20>



“ Ruby on Rails チュートリアル、フロントエンド研修の続編として、宣言的UIプログラミングと Dart ・ Flutter の基本を学んだ後、チュートリアルで作成した Rails アプリケーションのモバイルアプリ版を開発する構成となっています

引用: GMOペパボのエンジニア研修2021の資料を公開します
<https://tech.pepabo.com/2021/09/21/newbie-training-2021>



事例: セキュリティ研修

(EGセキュアソリューションズ)

<https://note.com/yasslab/n/nd514c04e1849>

特別企画 『徳丸さんとの雑談会』

#Railsチュートリアル

例えば次のように `protect_from_forgery` のコードをいじったり、`csrf_meta_tags` を削除したり、`has_secure_password` を使わずにパスワードを保存した場合にどんなことが起こり得るのか、といった様々な例 (CSRF, XSS, SQLインジェクションなど) を実演していました。

```
class MicropostsController < ApplicationController
  before_action :logged_in_user, only: [:create, :destroy]
  before_action :correct_user, only: :destroy
  protect_from_forgery :except => :create

  def create
    @micropost = current_user.microposts.build(micropost_params)
    if @micropost.save
      flash[:success] = "Micropost created!"
      redirect_to root_url
    else
      @feed_items = current_user.feed.paginate(page: params[:page])
      render 'static_pages/home'
    end
  end

  def destroy
    @micropost.destroy
    flash[:success] = "Micropost deleted"
    # /... => DELETE
  end
end
```

一方で「手を動かす - 具体的にこうなる」というのも学ばないといけない



教材支援: ソニックガーデン (学習合宿)

<https://note.com/yasslab/n/n629e561f3def>

完全
無料

学生・第二新卒のための プログラミング合宿

ソニックガーデン CAMP

プログラミング未経験者向け
ゼロから始めるアプリ開発合宿

ソニックガーデン GYM

現役プログラマによる
コードレビュー型学習合宿

- 前半の教材には、[Railsチュートリアル](#) を利用します
※参加特典として、本キャンプ修了後も引き続きRailsチュートリアルをご利用いただけます



研修設計: Classi (研修プラン)

<https://note.com/yasslab/n/n99e5e5504439>



研修支援サービス導入: Classi 様



YassLab 株式会社

2021年11月15日 14:56



学校のICT化を多角的にサポートする教育プラットフォーム「Classi」を運営しているClassi株式会社さまに、Railsチュートリアルでの研修支援サービスを導入していただきました 🙌✨

Classi (クラッシー) - 新しい学びが広がる未来の教育プラットフォームを創る

Classi株式会社は、データテクノロジーを活用し、学校教育の課題解決を支援しています。

corp.classi.jp





連携: 発展教材の制作支援 (Techpit)

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000004.000038934.html>

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ |

プログラミング学習教材マーケットプレイスの「Techpit」、Railsチュートリアルと業務提携し、完走者向け発展教材の制作を開始

株式会社テックピット

🕒 2021年7月16日 10時00分

74				...
いいね!	ツイート	はてな	素材DL	その他
シェア				

プログラミング学習教材マーケットプレイスの「Techpit」を運営する株式会社テックピット（所在地：東京都千代田区、代表取締役：山田晃平）は、「Railsチュートリアル」を運営するYassLab株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役：安川要平）と業務提携し、Railsチュートリアルをやり切った読者（以下、Railsチュートリアル完走者）を対象とした発展教材の制作を開始します。





連携: 完走者向けコンテンツ (発展教材)

https://railstutorial.jp/reading_guide

RSpec基礎講座 [🔗](#)

← **GMOペパボ様の研修資料 (Rails + RSpec)**

Railsチュートリアルを完走したレベルの人で、テストフレームワーク「**RSpec**」を学びたい人向けの資料です。具体的にはRSpecの環境構築やテストの種類、テストデータの追加方法、テスト結果の読み方などが学べます。サンプルコードもあるため、まずは手を動かしながらRSpecを学びたい方にオススメです。

Techpit 連携

RailsとReactでUberEats風SPAアプリケーションをつくってみよう! ← **(Rails + React)**

Railsチュートリアルを完走したレベルの人で、より実践的なフロントエンド技術 (**React**) を学びたい人向けのテキスト教材です。『**Rails APIモード**』と呼ばれる機能を使って、Railsとフロントエンド技術 (**React**) の組み合わせ方やデバッグ時の注意点、**Chrome DevTools**の見方などが習得できます。いくつかの章は無料で試し読みできます。

Techpit 連携

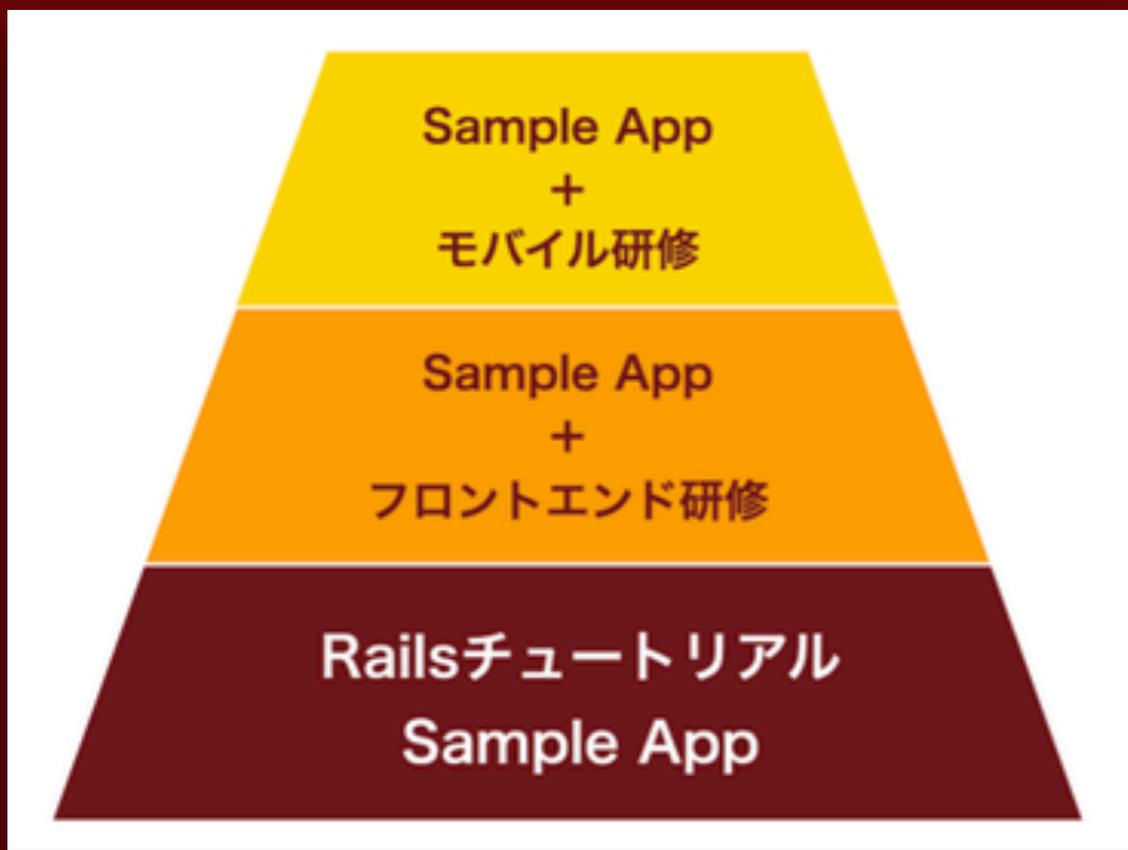
RailsアプリケーションをAWSに自動デプロイする方法を学ぼう! [🔗](#) ← **(Rails + CI/CD)**

Railsチュートリアルを完走したレベルの人で、実践的な継続的インテグレーション (CI) と継続的デリバリー (CD) を学びたい人向けのテキスト教材です。Railsチュートリアルで実装した「**Sample App**」を使って、GitHub Actionsによるテストの自動化と、AWS (EC2) へのデプロイ方法およびその自動化について学べます。

Udemy 動画

Rails APIとNuxt.jsで作るJWT (JSON Web Token) ログイン認証 [🔗](#) ← **(Rails + Vue.js)**

Railsチュートリアルを完走したレベルの人で、より実践的なフロントエンド技術 (**Vue.js**) を学びたい人向けの動画教材です。『**Rails APIモード**』と呼ばれる機能を使って、Railsとフロントエンド技術 (**Vue.js**) の組み合わせ方やJWT (JSON Web Token) を使ったログイン認証などが学べます。いくつかのシーンはYouTubeで視聴できます。



教材をつなげていき、
再利用/発展しやすい
研修エコシステムへ。



まとめ

反転学習 × 遠隔講義は相性が良い



講義外で
知識獲得



講義中は
演習重視

(写真: RubyWorld Conference 2018 における反転学習の講演)



地道な積み重ね = 受講者評点が向上

📖 コンテンツ一覧（難易度順）

🌱 初めの方へ



メッセージ 読む

これからプロダクト開発を学ぶ方へのメッセージです。全体像を把握したい場面で役立ちます。

🔧 開発環境の基本

プログラミングは細かな「ワザ」の積み重ねです。基本を1つずつ押さえることが、開発の素早さに繋がります。



コマンドライン編 読む

コマンド入力の基本、ファイル操作と検索、ディレクトリと構造などが学べます。

[目次 ▶](#)



テキストエディタ編 読む

Vimエディタの基本、VS Codeなどの操作、編集の各種テクニックなどが学べます。

[目次 ▶](#)



Git / GitHub 編 読む

Gitの基本コマンド、ブランチ作成とマージ、コンフリクトの解消方法などが学べます。

[目次 ▶](#)

📁 Web技術の基本

WebブラウザはHTMLやCSS、JavaScriptを読み込んで描画します。ブラウザが対応している基本を押さえることが、Webの理解に繋がります。



HTML 編 読む

HTMLタグの基本、場面に応じた各タグの用途、GitHub Pagesでのサイト公開方法などが学べます。

[目次 ▶](#)



CSS & Design 編 読む

CSSとデザインの基本、静的サイトジェネレータ『Jekyll』を使ったWebサイト制作、実例で学ぶflexboxの仕組み、モバイル対応のテクニックなどが学べます。

[目次 ▶](#)



JavaScript 編 読む

JavaScriptの基本、基本的なデータ構造とメソッド、JavaScriptにおけるテスト駆動開発などが学べます。

[目次 ▶](#)

💎 Rubyの基本

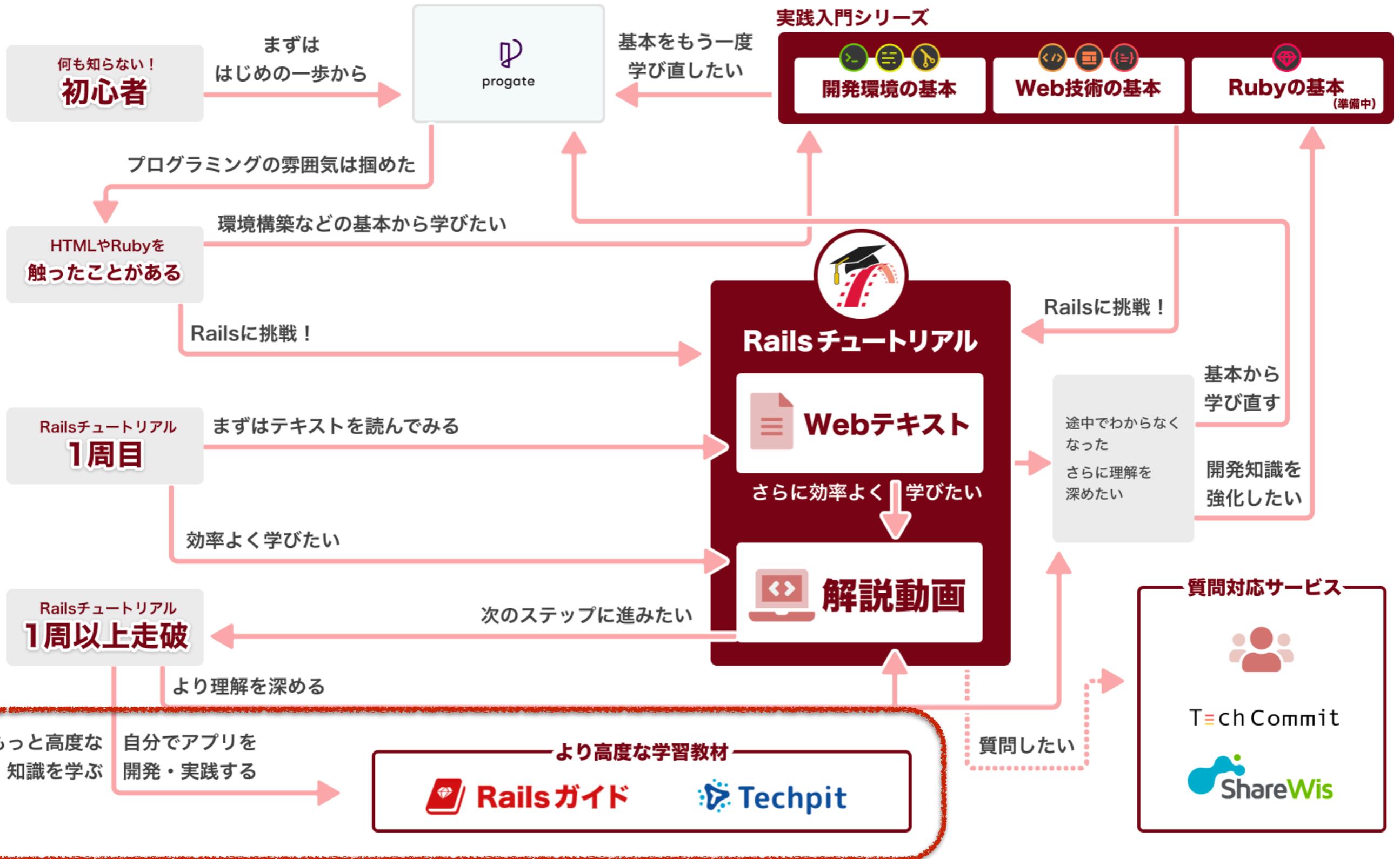
RubyやHTTPの基本が分かると、Railsの仕組みがより理解できます。本コンテンツではそれぞれの基本をRubyの軽量フレームワーク『Sinatra [🔗](#)』で学びます。



Ruby / Sinatra 編 (準備中)

プログラミング言語『Ruby』と『Sinatra』のセットアップから始まり、文字列や配列、シンボルやハッシュ、ブロックやMap/Reduceメソッド、クラスと継承、テストとリファクタリング、Gemの作り方、シェルスクリプトとの連携、Sinatraを使ったWeb技術の実践例などが学べます。

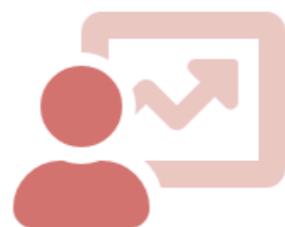
完走者向けコンテンツも充実させ、



変化に強い「研修の内製化」も支援

☰ 状況に応じたプラン

研修プログラムの設計段階からサポートするプランと、既存の研修プログラムに組み込む2つのプランがあります



研修プラン

担当者の負担を減らし、受講者の満足度を上げる研修プログラムの設計からサポートします

内製化を支援



内製プラン

反転学習に対応した各コンテンツやRailsトレーニングを既存の研修プログラムに組み込みます

各プランの違い

	研修プラン	内製プラン
コンテンツ利用	○	○
トレーニング機能	○	○
研修設計のサポート	○	—
研修実施のサポート	○	—

Thx!

Railsチュートリアル × 遠隔学習

受講者評点がリモートでも伸びた理由

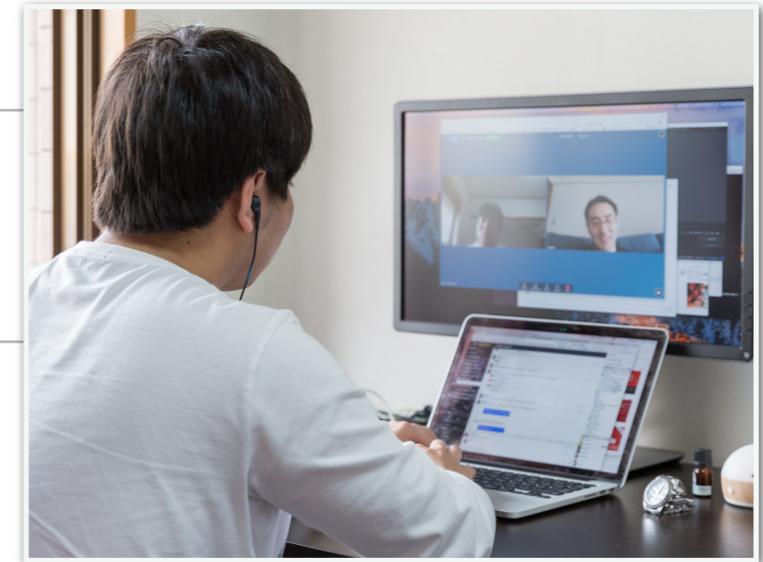
年度別の受講者評点 (5点満点)

4.4点

4.4点

4.3点

4.1点



反転学習を導入

遠隔講義

2018

2019

2020

2021